

東京都指定無形民俗文化財



秋川歌舞伎

あきる野座

新春公演

台 上

〈壽三番叟〉

〈絵本太功記十段目

尼ヶ崎閑居の場〉

1月15日 日

全席自由 大人500円 小人100円

(小学生～高校生)

※ 未就学児入場不可 保育あり (要予約)

生涯学習センターゆとりぎ大ホール 14:00 開演



羽村市制施行20周年記念事業



チケット

- ゆとりぎチケットカウンター (月休)
- 羽村市スポーツセンター (月休)
- マルフジ (青梅・羽村・福生市内) 7店舗
- 西多摩新聞チケットサービス (土日休)

主 催/羽村市教育委員会 企画・運営/ゆとりぎ協働事業運営市民の会

問合せ/羽村市生涯学習センターゆとりぎ 042-570-0707 (午前9時～午後5時、月休)

秋川歌舞伎あきる野座について

あきる野市二宮には二宮神社の神楽師により明治時代に始まった二宮歌舞伎と呼ばれる地芝居が伝承されています。平成4年の学校週5日制移行を受け、この二宮歌舞伎の伝承と青少年の健全育成を目的に、当初は子供歌舞伎として復活しましたが現在では老若男女合わせて約80名の座員が道具や衣裳などを自前作成し、地元中心に公演活動を行っております。平成12年には東京都無形民俗文化財の指定を受けました。

今後も約100年の歴史のある二宮歌舞伎の継承を通して地域文化の発展・交流に精進してまいる所存でございますので皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

《 口 上 》

地元の東秋留小学校歌舞伎クラブの4年生仲間が、本日の番組の紹介を口上により紹介させていただきます。

＜出演＞ 遠藤のどか、矢澤ちなみ、降幡桃奈、向原奈菜
(あきる野市立東秋留小学校歌舞伎クラブの仲よし娘)

《 壽三番叟 》

三番叟の起源は平安時代と伝えられ、五穀豊穰を祈る農民の神事でした。江戸時代には長唄、常磐津、清元、義太夫など音曲の発展とともに、式三番や雛鶴三番など様々な三番叟が演じられるようになりましたが、本日は大震災からの復興、五穀豊穰、そして皆様のご多幸をお祈りし雛鶴三番叟を上演します。

＜出演＞ 村上美幸 (座員の舞踊指導を担う地元の舞踊家)

《 絵本太功記十段目 尼ヶ崎閑居の場 》

謀反人光秀のもとを去った母皐月が暮らす尼ヶ崎の侘び住まいを、皐月の身を案じて光秀の妻操と孫十次郎の許嫁初菊が訪れます。そこへ粗末な形をした旅僧が宿を乞い、さらに討死を覚悟した十次郎が出陣の許しを得るために訪ねてきます。十次郎は皐月に初菊との祝言を勧められ、初菊は顔を上気させて喜び女三人は準備にかかります。

ひとりになった十次郎は、討死する身では祝言をしない方が初菊のためではないかと憂い沈んでいます。それを知った初菊は出陣を止めようとしますが、十次郎に急かされて泣く泣く出陣の用意を整え、夫婦固めの杯を交わして十次郎は出陣してゆきます。

さて風呂が沸き、最初に入浴する僧を真柴久吉と睨む光秀が竹槍を風呂場めがけて突き入れますが、光秀が突いたのは主殺しの罪をわからせようと身を捨てた母の皐月でした。操も夫に、善心に立ち帰るようかきくどきますが光秀は女達の願いを撥ねつけます。

そこへ、負傷した十次郎が父の身を案じ戦場から息も絶え絶えに落ち延びてきますがやがて皐月と共に息絶え、母と子を失った光秀も堪えきれずに慟哭します。

またもや陣太鼓が聞こえ、加藤正清が迫り、奥の間からは久吉が大將姿となって現われます。あらためて名乗りあった両者は、山崎の戦場での勝負を約束し幕となります。

あきる野座では導入場面である夕顔棚の段から上演いたしますが、この場面は松竹の歌舞伎でもあまり上演されることがありません。さらに農民が会話の中で御当地を紹介するなど農村歌舞伎らしさ満載の場面となっていますのでお楽しみください。

＜出演＞

武智十兵衛光秀	・ ・ 堤秀人	(地元市役所に勤務する発足時からの青年座員)
武智十次郎光義	・ ・ 下農稔子	(発足時は子供役者、今は新婚の奥様座員)
加藤虎之助正清	・ ・ 白樺山博信	(発足時から役者一途の青年座員)
真柴筑前守久吉	・ ・ 北田京子	(着付、化粧、役者と多才にこなすマルチ座員)
光秀の母皐月	・ ・ 中村幸処	(女役一すじ、若さあふれるママさん役者)
光秀の妻操	・ ・ 佐藤安美	(男役、女役何でもこいの芸達者)
十次郎の許嫁初菊	・ ・ 白樺山千晴	(幼児の時から舞台に立っている青年座員)
十次郎の軍兵	・ ・ 榎本育二	(小学校6年生、子供歌舞伎の中心的存在)
加藤の軍兵	・ ・ 日下部虎ノ助	(小学校2年生、子供歌舞伎の成長株)
	遠藤のどか	(小学校5年生、東秋留小学校歌舞伎クラブの部長)
	降幡桃奈	(小学校4年生、お芝居大好きなアイドル娘)
	谷澤ちなみ	(小学校4年生、何でも一生懸命頑張り娘)
	向原奈菜	(小学校4年生、明るく積極的な元気娘)
久吉の四天王	・ ・ 堤芳久	(歌舞伎大好ファミリーのお父さん)
	中村心	(中学三年生、子供歌舞伎のリーダー的存在)
	原和彦	(役者になりたて今後期待の新入座員)
	砂岡茂	(地元小学校の役者先生)
村人	・ ・ 澤田章	(あきる野座最長老80歳の名脇役)
	坂本孝好	(若手を支えるいぶし銀役者)
	小林十三雄	(大道具も作るマルチ役者)
	高木祐幸	(脇役一筋の元地元市役所職員)